

## ■ 地域の方と一緒に、学び育つ南っ子（志津南小学校）

### 1 【活動の趣旨】

地域の方を指導者として学習に迎え入れたり、直接地域に出かけ様々な場所や自然、人と触れ合ったりすることを通して、地域に親しみ愛着を深めることをめざす。

### 2 【特徴的な活動内容】

#### (1) 「学校ボランティア活動」（全校）

地域の方々や保護者に呼びかけ、登録制の学校ボランティアを実施して3年目になる。

校内での学校行事や学習のサポート、校区内での校外学習の見守りなど、都合のつくときに気軽に参加いただくことをコンセプトとして実施している。高学年の家庭科「裁縫やミシン」の扱い、地域の公園への自然観察や近隣の工場、施設への見学の際の見守り、また学校の花壇の整備等にもご尽力いただいた。



【総合的な学習 りょうぶの道散策】

#### (2) 立命館大学との交流（全校）

「立命館大学 BKC 地域連携課」にご協力いただき、学生の方々に小学校に来ていただき、1年生から6年生まで学年毎に、ボッチャ体験や紙飛行機製作、天体学習、フードロス等についての学習、バスケットボール、運動レクリエーション活動などの体験をさせていただいた。

### 3 【実施に当たっての工夫】

学校ボランティアの継続と、どの活動にも参加者がいていただけるようにするために、気軽に参加いただける雰囲気作りと特技を生かせる活動内容を常に意識して募集をかけるように心がけている。また、地域コーディネーターを窓口にして、地域の学校ボランティアの方々に活動案内のプリントを配布し、参加希望者を募った。また、保護者のボランティアの方々には、児童を通じて活動内容を知らせた。民生児童委員の方々の参加もあり、代表者を通じて活動内容を知らせた。

### 4 【事業の成果】

学校ボランティアの協力によって、児童の学習活動が充実したり、安全に実施できる手助けになったりと成果が大きかった。

立命館大学との交流については、学年のニーズに合った内容で、年齢に近い学生に教えてもらったり、触れ合ったりできたことは、児童が人や物事に興味を持つ良い経験の場となった。

### 5 【事業の今後の展望】

協力いただいている方々の後継者をどのように探していくかが引き続き課題である。また、活動内容について、学校と地域の方との意図が共通のものとなり、互いに有意義な活動になるよう、今後も意見を交わしていく必要がある。